2022年度(令和4年度) 高度理科教員養成センター現職教員CST養成プログラム カリキュラム実施予定

午前 8:50~12:00 午後 13:00~16:10

授業科目	コース		開講予定日	開講方法 (開講不可含)	開講場所・教室等 (変更の場合は赤で修正)	授業概要	授業担当者	備考
	A	B						
※1 1.危機管理特別実験演習 (教職大学院・理科の教材デザイン論と実践)	物理および地学 実験中の事故と対策	2細目 以上選択 4細目 必修	7月29日(金)	対面	教育学部 第2研究棟 3階316 (物理学大実験室)	・物理実験中の事故と対策(各種物理実験に関する事故例、予防策と対応策) ・地学実験中の事故と対策(危険予知訓練、野外での事故と対策)	古本 猛憲 河湯 俊吾	
	生物実験中の事故と対策		8月8日(月)	対面	教育学部 7号館 1階102 (実験室)	・生物実験中の事故と対策1(野外での事故とその予防) ・生物実験中の事故と対策2(野外活動終了時の確認)	西 栄二郎	
	化学実験における危機管理		8月22日(月)	対面	教育学部 7号館 1階102 (実験室)	・化学実験における危機管理1(化学物質の取扱方法、ヒヤリハットの収集) ・化学実験における危機管理2(KYT(危険予知訓練))	鈴木 俊彰	
	化学実験中の事故と対策		8月22日(月)	対面	教育学部 7号館 1階102 (実験室)	・化学実験中の事故と対策1(火災に関する事故と対策) ・化学実験中の事故と対策2(薬品・気体に関する事故と対策)	鈴木 俊彰	
※1 2.理科教材開発実践演習 (教職大学院・理科の教材デザイン論と実践)	身近な自然観察	2細目 以上選択 4細目 必修	7月29日(金)	対面	教育学部 7号館 1階102 (実験室)	・身近な自然観察1(自然観察演習での生物教材の発掘) ・身近な自然観察2(単元学習の中での生物教材の活用)	倉田 薫子	
	ものづくり		8月18日(水)	対面	教育学部 第2研究棟 3階316 (物理学大実験室)	・ものづくり1(安価な材料や身近な素材を利用した物理実験教材の作成) ・ものづくり2(単元学習の中での物理教材の活用)	平島 由美子	【持ち物】製作した教材を持ち帰るための袋(A4サイズ程度)
	現象の変化		8月8日(月)	対面	教育学部 7号館 1階102 (実験室)	・現象の変化1(身近にある化学物質を利用した化学実験教材の作成) ・現象の変化2(単元学習の中での化学教材の活用)	津野 宏	【持ち物】白衣(または汚れてもいい服装) サンダル、ハイヒール、短パン等は不可
	地球・環境		7月27日(水)	対面	教育学部 第2研究棟 2階213	・地球・環境1(地球大気循環を模擬する実験教材や気象観測装置の活用) ・地球・環境2(単元学習の中での地学教材の活用)	筆保 弘徳	
※2 3.人間社会と科学 (教職大学院・人間社会と科学)	人間社会と科学1	8細目 必修 4細目 以上選択	8月9日(火)	対面	教育学部 第2研究棟 2階213	・人間社会における科学が関わる諸課題、科学の意味 ・科学の方法論(仮説の設定と科学・非科学の理解)	津野 宏	
	人間社会と科学2		8月10日(水)	対面	教育学部 第2研究棟 2階213	・人間社会と環境①(熱力学の法則1 変化の方向をきめるもの) ・人間社会と環境②(熱力学の法則2 活動の限界をきめるもの)	津野 宏	
	人間社会と科学3		8月10日(水)	対面	教育学部 第2研究棟 2階213	・人間社会と環境③(安定な環境の物質循環を作る自然エネルギーの流れ) ・人間社会と環境④(生命と人間社会の環境における意味)	津野 宏	「人間社会と環境」と「人間社会とエネルギー」はどちらも①から受講してください。
	人間社会と科学4		7月18日(月)~8月18日(木)	オンデマンド	資料の閲覧方法は後日連絡する	・人間社会とエネルギー①(エネルギー再考) ・人間社会とエネルギー②(社会活動に必要なエネルギーの獲得)	古本 猛憲	③からの受講は認められません。
	人間社会と科学5		7月18日(月)~8月18日(木)	オンデマンド	資料の閲覧方法は後日連絡する	・人間社会とエネルギー③(エネルギー活用の手法) ・人間社会とエネルギー④(将来を支配するエネルギー)	古本 猛憲	「人間社会と科学8」は、「人間社会と科学1」~「人間社会と科学7」を全て受講した方のみ受講可能です。
	人間社会と科学6		8月3日(水)	対面	教育学部 第2研究棟 3階316 (物理学大実験室)	・子どもの自然認識の特性①(未就学~小学校) ・子どもの自然認識の特性②(小学校~高校)	加藤 圭司	
	人間社会と科学7		8月4日(木)	対面	教育学部 7号館 1階102 (実験室)	・自然観(風土)に根付いた自然認識からの科学的理解 ・理科という教科の役割	加藤 圭司	
	人間社会と科学8		9月3日(土)	対面	教育学部 第2研究棟 2階213	・科学的思考を元にした教育活動の展開(討論、まとめ)	加藤圭司、和田一部、平島由美子、津野宏、古本 猛憲	
4.理科授業研究	授業参観(ビデオ)と情報分析	2細目 必修 2細目 必修	8月1日(月)	遠隔(Zoom)	資料のURLは後日連絡する	小学校理科授業のビデオを参観し、授業方法について分析する。小学校理科授業計画の視点についてプレゼンと話し合い。	和田 一郎	
	指導計画の検討と議論		8月1日(月)	遠隔(Zoom+オンデマンド)	資料のURLは後日連絡する	理科に対して興味関心を高め、理科を学ぶ意義を実感出来る授業づくりに向けて、講義と演習を行う。	加藤 圭司	
5.小学校・中学校理科 実験演習	物理(エネルギー)実験1	4細目 以上選択 4細目 以上選択	8月23日(火)	対面	教育学部 第2研究棟 3階316 (物理学大実験室)	力学、物質の性質、光学、電気に関する下記のテーマから1つ以上を選択 1. 斜面上の球の運動 2. 物体の衝突 3. 振り子の運動 4. 密度と比重の測定 5. 簡易分光器の製作とスペクトル観察 6. 電気回路	平島 由美子 古本 猛憲	【持ち物】定規、電卓
	物理(エネルギー)実験2		8月23日(火)	対面	教育学部 第2研究棟 3階316 (物理学大実験室)		平島 由美子 古本 猛憲	
	生物(生命)実験1		8月12日(金)	対面	教育学部 7号館 1階102 (実験室)	身近な動植物材料を用いた小学校や中学校で使える実践例を紹介する。 1. 社会教育施設としての博物館や動物園、植物園の機能と役割 2. 自然保護活動の是非など	西 栄二郎	
	生物(生命)実験2		8月3日(水)	対面	教育学部 7号館 1階102 (実験室)	「花の構造観察」または「果実の観察」を通して、分類や進化を理解する。	倉田 薫子	
	化学(粒子)実験1		8月19日(金)	対面	教育学部 7号館 1階102 (実験室)	化学実験に使う器具の選び方、取り扱い方、ガラスの特性を知る。希釈熱の測定を行い、試薬の調製法を合理的に理解する。	津野 宏	【持ち物】白衣(または汚れてもいい服装) サンダル、ハイヒール、短パン等は不可
	化学(粒子)実験2		8月19日(金)	対面	教育学部 7号館 1階102 (実験室)	食酢の分析を通じて、濃度を正しく理解する。	津野 宏	
	地学(地球)実験1		7月28日(木)	対面	教育学部 第2研究棟 2階213	天気図の見方と作成方法	筆保 弘徳	「地学(地球)実験1」と「地学(地球)実験2」は合わせて受講してください。
	地学(地球)実験2		7月28日(木)	対面	教育学部 第2研究棟 2階213		筆保 弘徳	【持ち物】色鉛筆
6.地域フィールド研究	神奈川の植生	2細目 以上選択 2細目 以上選択	8月9日(火)	対面	教育学部 7号館 1階102 (実験室)	横浜国立大学構内において、潜在植生の観察を行う。 1. 樹木の同定法 2. 簡易標本の作製	倉田 薫子	【持ち物】(持っていれば)デジタルカメラ
	池や川のプランクトンと 小型生物の観察		8月12日(金)	対面	教育学部 7号館 1階102 (実験室)	横浜国立大学構内の池でプランクトンや小型生物を採集し、観察を行う。 1. プランクトンの観察 2. 小型生物(昆虫の幼虫など) 3. 顕微鏡を使った描画法、写真撮影の方法	西 栄二郎	
	天体観測		12月10日(土) 【注】夜間実施 17:00~19:30	対面 曇天・雨天の場合は、 屋外での天体観測は中止	かわさき宙と緑の科学館 (16:50 現地集合) 開講式配付プリント参照	川崎市立「かわさき宙(そら)と緑の科学館」にて夜間実施 1. プラネタリウムの活用 2. 天体観測装置の仕組みと利用の仕方 3. 神奈川県上空に見える星について屋外での天体観測	科学館講師 河湯 俊吾 筆保 弘徳	開講できないこともあります。その時はメールなどで事前にお知らせします。
	神奈川の地形と地質		10月15日(土) 【注】1日実施 10:30~16:00予定	対面 荒天時は翌日 10月16日(日)に順延	三浦市城ヶ島 (10:30 現地集合) 開講式配付プリント参照	三浦半島南端の城ヶ島において、地層の観察を行う。	河湯 俊吾	現地小雨決行 【持ち物】開講式配付プリントを参照
	土壌動物の採集と分類		8月5日(金)	対面	教育学部 7号館 1階102 (実験室)	土壌動物の採集方法および分類に関する演習 簡易的な採集用具や年齢に合わせた展開方法についての演習を行う。	橋本 みり	【持ち物】虫よけ、虫刺され薬、軍手、(持っていれば)ルーペまたは虫めがね

教職大学院授業科目に対応なので原則開講予定です。

備考)

本学教職大学院では、ラーニングポイント制度(=本学が認めた研修や授業科目等の履修を、本大学院の授業科目とみなす履修証明の制度)の運用を検討しています。

今後、この制度が運用された場合は、以下の細目数の履修によって教職大学院の科目に算入できる可能性があります。

※1・・・「危機管理特別演習」(4細目)と「理科教材開発実践演習」(4細目)すべてを履修 → 教職大学院「理科の教材デザイン論と実践」

※2・・・「人間社会と科学」(8細目)すべてを履修 → 教職大学院「人間社会と科学」